

## 「令和2年度県内医療機関における外国人患者の受入に係る実態調査」 結果の概要（厚生労働省実施）

### 1. 対象：病院

### 2. 調査内容

【調査票A】受入体制の把握（令和2年9月1日時点の院内の状況）

【調査票B】受入実績の把握（令和2年10月1日～31日に受診した外国人患者）

### 3. 回答率：76% [R1: 70%]

県内97病院のうち、74病院から回答あり（うち2病院は調査票Bのみ回答）

### 4. 調査結果

#### 【調査票A】

#### （1）医療通訳の配置状況

配置しているのは6病院（8.3%）[全国 6.9%] [R1: 4病院]

#### （2）電話通訳の利用状況

利用しているのは9病院（12.5%）[全国 15.0%] [R1: 6病院]

#### （3）タブレット端末、スマートフォン端末の利用状況（医療従事者が個人で使用するものは除く）

医療機関として導入しているのは22病院（30.6%）[全国 26.6%] [R1: 13病院]

#### 【調査票B】

#### （1）在留外国人患者受入状況

受入実績があるのは、外来37病院、入院17病院 [R1: 外来42病院、入院14病院]

#### （2）訪日外国人（医療渡航を除く）患者受入状況

受入実績があるのは、外来2病院、入院0病院 [R1: 外来8病院、入院1病院]

#### （3）医療を目的にした訪日外国人患者受入状況

外来又は入院の受入実績があるのは、なし [R1: 1病院]

健診の受入実績がある病院は、なし [R1: なし]